

新しい揖斐川町に向けて

町長 宗宮 孝生



謹んで新年の
ごあいさつを
申し上げます

新年あけましておめでとうございます。

平成十八年の輝かしい新年を迎え、今年も町民の皆さまにとって、良い一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

昨年は、一月三十一日に一町五村が合併し、新しい揖斐川町が誕生いたしました。新町への移行にあたり、町民の皆さまの温かいご支援、ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、現在内外の社会経済情勢はようやく回復の兆しが見えてまいりましたが、本町の財政状況は依然に極めて厳しく、加えて地方分権、行政改革など多くの課題が山積みしております。

しかし、合併まちづくり計画において、町の将来像として掲げた「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」の実現に向けて、町民の皆さまの期待に応えるべく、全力で取り組んでまいります。

そのため、町においては、地域情報ネットワーク、道路ネットワーク、公共交通ネットワークの三つのネットワークの整備を進めていきたいと考えております。

一つ目の地域情報ネットワークでは、昨年から光ファイバーを使ったケーブルテレビの整備の調査・準備を進めております。二つ目の道路ネットワークでは、揖斐大野ふれあいトンネルの整備、三つ目の公共交通ネットワークでは、自主運行バスの運行などを進め、町民の皆さまに安心して快適に生活していただけるようにまいります。

これまでに活力あるまちとなるよう少子化・定住対策として平成十七年十月より小学校卒業までの乳幼児・児童への医療費の助成を行い、無料で診療が受けられる県内でも例が少ない先進的な福祉施策を実施し、安心してお子さんを育てられる環境を整えてまいりました。

また、行政改革により、合併による住民サービスの低下に繋がらないよう配慮しつつ、行政の無駄を極限まで減らし、最小限の経費で最大限の効果が得られるよう取り組んでまいります。

厳しい財政状況ではありますが、皆さまがよりよい生活ができるよう力を注いでまいります。どうか本年も、町政に対する相変わらぬご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。